

あなたの声を東アジアの首脳たちに届けよう

国際署名

戦争するな！どの国も

～東アジアを平和、友好、繁栄の共同体に～

当面の願いを署名に託して

なんとしても戦争を防ぐ！
切実な課題で協力し、話し合いの機運を醸成し、平和のルールをつくる

東アジアでは、領有権問題や核兵器開発問題、旧日本軍「慰安婦」問題などの歴史認識をめぐる、緊張と不信が高まり紛争も起きています。それをめぐり、一触即発の事態を憂慮する声もきかれます。その情勢のもと平和共存の流れを促進し、絶対に戦争を起こさず、平和・協力・繁栄の「東アジア共同体」を建設する課題は重要です。この署名は「東アジア共同体」建設を促進する願いをもちつつ、当面、切実で共通の願いで協力し合い信頼関係を醸成し、紛争を戦争にしないルールづくり、東南アジア友好協力条約(TAC)型の平和共存の条約の制定めざすものです。

内容と提出先

3つの項目(概要)を東アジア首脳会議(EAS)に提出

1. 自然災害、感染症、環境汚染対策など切実な課題で関係各国や国民同士の話し合いと協力をすすめ、信頼関係を醸成すること
 2. 不測の事態から紛争を戦争に絶対に発展させないために、相互にまもるべき基本的ルールをつくること
 3. 東南アジア友好協力条約(TAC)型を東アジア全体にひろげること
- 提出先は、「東アジア首脳会議(EAS)」です。同時に、参加各国政府にも働きかけます。

用語の説明

■ 東アジア首脳会議(EAS)

ASEAN10カ国(インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、ラオス)に日本、米国、中国、韓国、ロシア、インド、豪州、ニュージーランドの計18カ国が参加する首脳会議。参加国にはTAC加盟が義務づけられています。

■ 東南アジア友好協力条約(TAC)

ASEAN諸国の国家関係の原則として、◇独立、主権、平等、領土保全、◇外部からの干渉拒否、◇内政不干涉、



◇紛争の平和的解決、◇武力による威嚇と武力行使の放棄などを明記。

ASEAN諸国以外の国にも加入の道が開かれており、日本、中国、米国など31カ国とEUが加入。ASEAN域外の加入国は、ASEAN諸国に対し上記原則の順守が義務。しかし、ASEAN域外の国同士には適用されません。

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

連絡先: 〒160-0022 新宿区新宿2-11-7 第33宮庭ビル4F ☎03-5363-3470 FAX 03-3357-6255